

お民医連

2023年1月20日発行

【8面オールカラー】発行部数2,960部

第303号

発行元／青森県民主医療機関連合会

所在地／〒030-0822 青森県青森市中央1丁目6-8 3F

TEL. 017 (723) 4076

FAX. 017 (773) 5326

URL <https://aomin.jp/>

e-mail info@aomin.jp

謹んで新年のご挨拶を
申し上げます



青森県民主医療機関連合会
会長 田代 実

新年あけましておめでとうござい
ます。COVID-19の出現から三
年目を迎えますが、昨年も患者・地
域住民の生活に寄り添い、人権を守
る医療、介護、福祉活動の取り組み
に尽力されたすべての県連職員に心
から敬意を表します。

民医連綱領の中文六つ目には「人
類の生命と健康を破壊する一切の戦
争政策に反対し、核兵器をなくし、
平和と環境を守ります」とあります。
今、戦争と平和をめぐる私たちが
歴史的岐路に立っていると感じてい
ます。

【専守防衛】方針の放棄

昨年末、岸田首相は安全保障関連
三文書（以下「三文書」）を閣議決
定しました。十二月十七日付朝日新
聞では、「戦後日本の安全保障転換」、
「敵基地攻撃能力保有、防衛費一・五
倍」、「熟議・説明なし、将来に禍根」
の見出しで、「憲法に基づいて専守
防衛に徹し、軍事大国とはならない
とした戦後日本の防衛政策は、大き
く転換することになった」と報じて
います。

従来から政府は「専守防衛とい
うのは防衛上の必要からも相手の基地

を攻撃することなく、もっぱらわが
国土及びその周辺において防衛を行
うということでごさいます。これ
はわが国防衛の基本的な方針であ
り、この考え方を変えるということ
は全くありません」（一九七二年十
月、衆議院本会議、田中角栄首相）
との見解を示し、これに基づく「自
衛権行使の三要件」として(1)わが国
に対する急迫不正の武力行使が発生
した(2)排除するために他の手段が
ない(3)必要最小限度の実
力行使にとどまるべきこと、を提示
してきました（一九八一年三月、参
議院予算委員会、大村襄治防衛庁長
官）。

岸田首相は今回の三文書で「専守
防衛の考え方を変更するものではな
い」と述べていますが、歴代の政府
が示していた「専守防衛」との整合
性について説明も議論もしないまま
「敵基地攻撃能力を保有」し、その
ために「防衛費一・五倍化」を図る
のは、大きな問題だと考えます。

【防衛費一・五倍】でどうなるか？

今回の「三文書」では、二〇二三
年度から五年間の防衛費を現行計画
の一・五倍以上となる四十三兆円に
することが示されています（過去五
年間の約二十六兆円から十七兆円
増）。日本の防衛費は現在世界九位
ですが、二〇二七年度はロシアや英
国を抜き、米中印に次ぐ世界四位に
なると報じられています。そしてそ
の財源は、増税や「歳出削減」でま
かなうとされています。昨年、公的
年金の削減や後期高齢者医療費の窓
口負担二倍化が行われ、来年度から
は介護サービスの利用料二倍化も検

討されていますが、防衛費増のため
に社会保障費が削減されていくこと
は許されたいですか？

【私たちがどうするか？】

九条の会世話人で二〇〇七年に亡
くなった小田実氏は、以下の言葉を
遺しています。

「政治とか経済とか文化とか、そ
ういふものの中心を形づくるのは
「大きな人間」です。大きな人間
は大きな力を持っているので、その
力を行使して政治をしたり経済をつ
くったり、あるいは文化を形づくる。
それに対して「小さな人間（普通の
市民）」は何をするか、という問
題があります。

小さな人間は、自分たち小さな人
間の力を信じて、それでもって反対
する、抗議する、やり直しさせる、
是正する、変更させる。小さな人間
が、小さな人間の力で大きな人間の
やり方を正しくする、私はこれがデ
モクラシーだと思うんです。これが
なかったらデモクラシーはないん
ですね。それをまず私たち「小さな人
間」の側が考えなければ必要がある
と思います」（小田実「遺言言葉」）。

日本の近現代史を俯瞰すると、一
八六八年の明治維新から一九四五年
アジア太平洋戦争までの「戦争の時
代」が七十七年、一九四六年日本国
憲法が制定されてから今年までの
「平和の時代」が七十七年となりま
す。このような時期に歴史の分岐点
と言える事態を迎え、あらためて一
人の市民として、「おかしい」と感
じることに異議申し立てをしていく
ことが重要だと考えています。多く
の職員が今年も忙しい日々を送るこ
とになると思いますが、忙しい中で
も戦争・平和と社会保障をめぐる問
題について、学び合い、話し合い、
行動したい、と私は思っています。
本年もよろしく願いいたします。

青森県民医連第56期役員

役職名	氏名	職種
会長	田代 実	医師
副会長	伊藤 真弘	医師
事務局長	相馬 真裕	医師
事務次長	佐藤 真人	事務
事務局長	下館 康史	事務
事務局長	石田 晋吾	事務
事務局長	石塚 理仁	事務
事務局長	泉谷 雅人	事務
事務局長	磯島 寿人	事務
事務局長	小形 昭彦	事務
事務局長	奥瀬 海	事務
事務局長	角山 尚樹	事務
事務局長	加藤 恵子	事務
事務局長	菊池 中央	事務
事務局長	工藤 眞大	事務
事務局長	越田 潤子	事務
事務局長	古舘 正志	事務
事務局長	今 淳一	事務
事務局長	坂戸 慶一郎	事務
事務局長	崎野 修	事務
事務局長	佐々木 良範	事務
事務局長	獅子内 和子	事務
事務局長	鈴木 哲也	事務
事務局長	関谷 修	事務
事務局長	相馬 渉	事務
事務局長	高橋 千津子	事務
事務局長	竹内 一仁	事務
事務局長	橋本 歩	事務
事務局長	橘 千景	事務
事務局長	對馬 健洋	事務
事務局長	寺島 由美	事務
事務局長	中村 真優美	事務
事務局長	奈良原 恵	事務
事務局長	鳴海 由紀子	事務
事務局長	西村 美和	事務
事務局長	原 徹	事務
事務局長	三津谷 靖子	事務
事務局長	宮本 達也	事務
事務局長	村上 健俊	事務
事務局長	村上 渡	事務
事務局長	八島 将仁	事務
事務局長	柳谷 関	事務
事務局長	荒木 友昭	事務
事務局長	坂野 敏子	事務
事務局長	工藤 敏子	事務

日頃のご協力・ご愛読に感謝して **抽選で22名にお年玉プレゼント** 応募は定期便・封書・FAXで！
応募用紙及び応募の詳細は本紙8面に掲載しています。抽選結果は次号（3月15日発行）に掲載予定。応募締切／2023年2月15日





第51回 看護介護活動研究交流集会

支えようこの時代 つなげよう心とココロ

二〇二二年十一月六日(日)、第五十一回看護介護活動研究交流集会がオンラインで開催されました。今年度は「支えようこの時代 つなげよう心とココロ」をテーマに、日々の看護介護活動をまとめた十七演題の発表がありました。また「コロナ禍での貧困と格差」について認定NPO法人 自立生活サポートセンターもやい理事長の大西連氏による講演もあり、総勢一〇五人が参加し、実りある交流会となりました。

今年度で二回目のオンライン開催となった看護介護活動研究交流集会ですが、前年度の反省点を生かし、会場の環境調整、アンケート内容の見直し、操作介助のスキルアップやトラブル対処法などを学び万全の状態で開催に臨むことが出来ました。

特別講演では若者の自殺率が主要先進国でトップの日本において、コロナ禍で労働環境に変化が生じ、生活が困窮し、精神的に追い詰められ自殺する若者がさらに増加している現状を、大西氏の活動と体験から学びました。困っている人にとって支

援に繋がるまでのハードルは高く、受けられるはずの支援が必要な人に十分に届いていない現状に、私たち民医連の職員として何が出来るのか考える機会となりました。

各分科会における発表では、民医連綱領を基盤に、いのちや健康に真剣に向き合った活動内容と学びが報告され、オンライン開催にも関わらず活発な意見交換をする場にもなりました。多くの参加者にとって交流集会は自身の経験と照らし合わせながら聞き、学び、見聞を広げる素晴らしい機会になったと思います。

(看護介護学会小委員会

成田良美)



2022年度 県連内介護事業所乗り入れ点検



11月に県連内の7介護事業所に乗り入れ点検を実施しました。県連高齢福祉委員会では毎年、法令遵守の把握、利用者個々のケアプランの実施把握、介護サービスの質向上の目的で実施しています。新型コロナウイルス感染症の地域拡大により、2020年度は実施途中で中止、2021年度は初めてWeb点検を実施、今年はコロナの地域状況を見ながら現地に出向く通常の点検を行いました。

受審事業所は、青森保健ではおおの包括支援センター、津軽保健では健生訪問看護ステーションたまち、五所川原通所リハビリテーション、八戸医療では生協訪問看護ステーション虹、生協小規模多機能ホームみなみるいけの家、社福虹ではデイサービス虹のひろばです。点検事業所と日程調整して、他法人の関連事業所から2～3名点検に入りました。コロナの影響で受け入れ対応が難しく12月に延期した事業所が1か所、点検者の欠席も3名いましたがお互い感染対策をしながら無事実施できました。

事業所点検で気づくことの他、法人を越えた事業所間の交流がされ得たものも大きいものとなりました。点検を受けた事業所も点検に向かった事業所も大変お疲れさまでした。

(高齢福祉委員会 委員長 加藤恵子)

2022年度

県連薬局活動交流集会

11月12日(土) オンラインにて薬局活動交流集会を開催し、薬剤師56名と保険薬局の事務ら19名が参加しました。今年も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染予防のためオンラインでの薬局活動交流集会開催となりました。



講師 鶴山 辰氏

記念講演に、北海道民医連、勤医協中央病院薬剤部長・鶴山辰氏を講師に招き、民医連薬剤活動の原点である「2つの視点(①健康権保障の担い手として。②医薬品を社会的にとらえる。)」と5つの目標(①民主的集団医療を軸に適正な薬物療法の実践。②薬害根絶と医薬品の安全確保に全力をあげる。③患者・国民の人権を守るために行動。④地域に根ざした薬剤活動を展開。⑤全国の仲間と力を合わせて取り組みをすすめる。)」をメインに講演していただきました。参加者からは「患者さんを守るために論文などの研究データを鵜呑みにせず自分で考えることが大切だと感じた。」「社会背景から患者さんを見るということがどれだけ大事かわかる講演でした。」「薬の安全性を評価するためには、本質を見極める力が大事だと学びました。」「民医連薬剤師はどうあるべきか、いま一度振り返り考える機会を頂きました。態度×知識×技能であり、どれか1つでも欠けていればゼロ。このフレーズが心に刺さりました。」などの感想が寄せられ、コロナ禍の厳しい環境の中で業務に追われながらも、「民医連薬剤師」としての役割を見つめ直す機会になったようです。

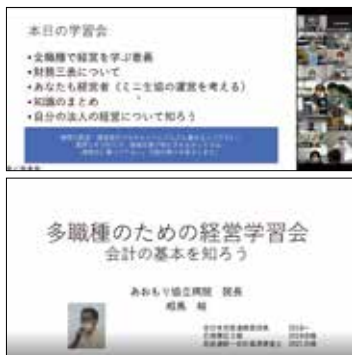
記念講演の後、新人1年目薬剤師5名による自己紹介、県連薬剤部門を代表として新薬・副作用モニター小委員会から活動報告をしていただきました。

全体を通して、この薬局活動交流集会は県連内の薬剤師集団が集結し交流を深めるための大変貴重な場となっていることをあらためて確認することができました。今集会で学習した内容や意見交流した内容を生かし、今後の県連薬剤活動がますます活発なものになる事を期待しています。(青森民医連 立花典明)



講師スライド

県連「多職種のための経営の見方・考え方 Web学習会」



十一月十九日(土) 講師に相馬裕先生を迎えて経営学習会が開催され、土曜日の午後にもかわらず約二〇〇名の参加がありました。看護師・薬剤師・介護福祉士を中心に事務系以外の参加が特に多かったことが特徴です。キャッチフレーズ「いまさら聞けない経営の基本について医師の視点からお伝えします。」の通り、相馬先生が経営を学ぶこととなった動機から始まり、民医連統一会計基準の意義、財務資料の基本的な見方や簡単な経営分析など事例とユーモアを交えながら分かりやすくご講義いただきました。参加者より「とても分かりやすかった、経営資料に対する苦手意識が消えた、実践に生かせる。」などの感想が多数占め、理解度も高いものとなりました。相馬先生は医師の視点、トップ幹部の視点から今後の経営を良くするため

には民医連経営の特徴である全職員参加経営を実践することが重要であり、そのためには多くの職員が経営に関心をもつて学ぶことが大切だと述べられました。学習会の後半では各法人より二〇二二年度上半期の経営報告があり、特に薬局法人で薬価改定等の影響により経営が厳しいことが報告されました。最後に、経営委員会として今回の学習会の要点として、毎月の経営資料に目を通すこと、経営状況について職場討議することと呼びかけたいと思います。(経営委員会 副委員長 崎野修)



ヘルパーステーションはるかぜ
介護福祉士
くらおか ふうこ
年女 倉岡 楓子さん

①社会福祉法人虹に入社して約2年が経ちました。約2年間仕事を覚えることや慣れることに精一杯で福祉関係の勉強などはできませんでした。
②今年度からは仕事をしっかりとこなしつつ、学習をしながらよりよい介護福祉士として働けるよう努めていきたいと思います。



健生病院
事務

おだ けいすけ
年男 織田 桂輔さん

①入職したのは2013年の4月で、早いもので入職から10年が経とうとしています。色々な部署を経ましたが、全ての職場の経験が自分の力になっていて、これからもその知識を組織の為に活かしていきたいです。
②今年は36歳の年男ということで、20代からはおじさん、上の方々からはまだまだ若造と見られるかもしれませんが、自分のカラーを十二分に発揮して今年も良い年に入りたいと思います。

①入職してからの思い出 ②新年の抱負

自治体キャラバン

地域住民の暮らしを守ろう

十月二十四日(月)～十一月一日(火) 中弘南黒西北地域で各自治体との懇談が行われました。青森県社会保険推進協議会を中心に各加盟団体から参加があり、津軽保健生協からは社会保険平和委員や職員など延べ二十五名程参加。そこでは国保や介護保険、子ども施策・子育て支援などについて質問や要求をしました。

十月二十五日(火) 西北地域の懇談があり、鶴田町、板柳町、鯉ヶ沢町、深浦町を訪れました。

鶴田町との懇談には津軽保健から二名が参加しました。国民健康保険料について、今年度独自に資産割と平等割をゼロに、均等割を半額に引き下げ。さらに物価高で生活への打撃が大きいため、来年度も可能であれば継続したいとの説明に、参加者から感心と驚きの声がありました。

十一月一日(火) 田舎館村との懇談へ津軽保健生協から二名参加しました。介護保険制度について、今年度保険料を六四〇〇円から六二〇〇円へ引き下げを実施。子ども施策・子育て支援では、第二子、第三子へ小中学校給食費を半額助成、第三子以降無償に。さらに今年度四月からコロナ対策で半年間無償化を実施。地域住民に寄り添った施策がとられました。また就学援助費の新入児童生徒学用



鶴田町との懇談

品費は入学後の五月支給とのこと、参加者から前年度支給の要望がありました。

現在七十五歳以上医療費窓口負担二倍化実施や介護保険制度改悪など、地域住民の自己負担増額や利用控えが広がっています。地域住民が安心して暮らし続けられるよう、自治体に住民の声を届ける全体的な取り組みの大切さを再認識しました。(津軽保健生協 組織部 下林夏希)

2022年日本平和大会 ～いまこそ、ゆるがぬ平和を世界と日本に～

11月26日(土)～27日(日)、2022年日本平和大会がオンラインで開催され、延べ約1,200ヶ所での視聴会、個人視聴で約4,000人が参加し、県連内では、津軽保健本部から延べ7名が視聴参加しました。開会集会では、岸田政権が狙う「戦争する国づくり」を許さない運動の強化が求められていると述べ、「大軍拡路線ではなく憲法9条をいかし、東アジアに非核・平和の流れを広げよう」と語られました。本大会での報告や討論では、今日の情勢を敏感に受け止め、全国各地で湧き起っている運動が交流されました。また、各国からの報告は、ウクライナ、イギリス、韓国、ベトナムの代表がそれぞれ激動の中で平和のためにたたかう取り組みを語り、私たちの認識を豊かにし、連帯を深めたものとなりました。私たちも、日本がふたたび戦争の道を歩むことは許さず、憲法に基づく外交努力を尽くすことを求めるとともに、コロナや物価高騰にあえぐ国民に軍拡財源を押し付けることを許してはいけないうる声をあげていきましょう。(反核平和委員会 委員長 角田尚樹)

なくそう!! 日米軍事同盟・米軍基地

2022年日本平和大会

11月26日(土)・11月27日(日)

岸田政権は年々、遠く太平洋を横断する
超域な軍事政策・大軍拡方針を決めています。
この動きを止め、2022年日本平和大会(オンライン)で
世界に発信し、平和を求め、運動を広げよう。
「どうしたら平和な日本とアジアをつくれるのか?」
「1米安保条約はこれでいいのか?」の疑問を正面から考え、
オンラインでどこからでも、どなたでも参加できます。
あなたも日本平和大会へ!

**全国、世界を結び
学び・交流・議論します**

開会集会 11月26日(土)10時～12時
開会集会 11月27日(日)10時～12時

シンポ・分科会
11月26日(土)13時30分～16時30分

1 シンポジウム ロシアのウクライナ侵襲と我々考える
どうしたら核兵器も戦争もないアジアと
日本をつくれるのか?

2 敵基地攻撃・大軍拡を許さない学習と運動の交流
米軍の核兵器配備や、米軍基地の周辺住民による生活被害
をテーマに、大会ウェブサイトに掲載します。

おうちでも、お近くの視聴会でも
～オンライン会議アプリZoomを使います～
各都道府県実行委員会へお問い合わせください。
詳細は情報提供(大会ウェブサイト)をご覧ください。

いまこそ、ゆるがぬ平和を世界と日本に

- ロシアは侵略をたたきやめよ! 国連憲章を守れ!
- 敵基地攻撃・大軍拡! 憲法9条を守れ!
- 軍事同盟強化でなく、東アジアに非核平和の流れを広げよう

主催 / 2022年日本平和大会実行委員会
連絡先 / 青森県連 青森県平和委員会 青森県平和委員会 018-834-4437 FAX 018-345-4277

**多彩な視点
とどろきに**

岸田政権の大軍拡・改憲路線NO! の声を広げよう。

県内外の運動を大交流

開会集会 11月26日(土)10時～12時
世界の市民と考える
～ロシアのウクライナ侵襲、国連憲章、軍事同盟強化反対、非核平和の追求を～

ウクライナ
ロシア侵襲
ウクライナ侵襲
ウクライナ侵襲

イギリス
NATO加盟国
NATO加盟国
NATO加盟国

韓国
SPARK (市民連合) 韓米同盟の危険性
韓国連帯
韓国連帯

ベトナム
ASEAN加盟国の声として
ASEAN加盟国の声として

全国の市民の平和運動を交流
～ロシアのウクライナ侵襲、国連憲章、軍事同盟強化反対、非核平和の追求を～
～ロシアのウクライナ侵襲、国連憲章、軍事同盟強化反対、非核平和の追求を～
～ロシアのウクライナ侵襲、国連憲章、軍事同盟強化反対、非核平和の追求を～

学習と交流 さらに深堀り

シンポ・分科会 11月26日(土)13時30分～16時30分
どうしたら核兵器も戦争もないアジアと日本をつくれるのか?

1 敵基地攻撃・大軍拡を許さない学習と運動の交流
米軍の核兵器配備や、米軍基地の周辺住民による生活被害をテーマに、大会ウェブサイトに掲載します。

2 敵基地攻撃・大軍拡を許さない学習と運動の交流
米軍の核兵器配備や、米軍基地の周辺住民による生活被害をテーマに、大会ウェブサイトに掲載します。

これからの日本安保

開会集会 11月27日(日)10時～12時
日本と日本と世界の平和をどう考えるのか
～ロシアのウクライナ侵襲、国連憲章、軍事同盟強化反対、非核平和の追求を～
～ロシアのウクライナ侵襲、国連憲章、軍事同盟強化反対、非核平和の追求を～

青森保健生活協同組合事務

たなか まゆ
年女 田中 真結さん

①入職してからたなかさんの楽しい思い出がありますが、昨年組合員さんに行った中部クリニック再建後のチラシ配りが特に印象に残っています。コロナ禍に入職したこともあり、組合員さんと一緒に活動する機会があまり無く、初めて組合員さんと触れ合えた機会となりました。不慣れな私に組合員さんが優しく地域行動について教えてくださいましたのも有難く、また中部クリニックの再建について、「待っていたよ」という温かい言葉を頂けたのも嬉しかったです。

②今年は、仕事の知識を一層深め、新しく出来る仕事を少しずつでも増やしていきたいと思っています。



障がい者生活支援センターすみれ 相談支援専門員

きむら ゆうこ
年女 木村 優子さん

①入職してから4年が経ちました。振り返ると、右も左もわからず日々仕事を覚える毎日だったように思います。様々な体験や経験を積み、現在の職業に就く事ができ、やりがいを感じながら毎日を楽しめることができている。

②うさぎさんは、跳び姿から「飛躍」「向上」を意味するとも言われており、2023年は大きく進歩し良い方向へ向かうように頑張っていきたいと思っています。



医系学生合同奨学生会議

医療者として今こそ
学ぼう、日本国憲法

10月29日（土）、オンラインにて2022年度青森県民医連医系学生合同奨学生会議を開催しました。医学生・看護学生10名、職員8名が参加しました。講師には「明日の自由を守る弁護士会」の白神優理子弁護士を招き、日本国憲法の成り立ちから、憲法がどうの中身で生活にどう関わっているか、今どのように変えられようとしているかについて学び、ディスカッションを行ないました。

講師の白神弁護士は、最初に「憲法を守る義務を負っているのは誰でしょうか？」と問いかけ、「憲法を守らなければいけないのは国民ではなく、国や政治家などの権力者です。憲法は、権力者が暴走することなく、国民のための政治をするよう、権力者を縛るために存在します。それが立憲主義です。」と話されました。白神弁護士は「戦前は天皇や国が最高の価値とされ、国民はそれを守るために死ぬことを強制された。日本国憲法は、そんな悲惨な戦争の反省から価値観を180度変え、人間の命・尊厳こそ最高の宝とし、個人個人が自由に幸せに生きることを最高の価値とした。その実現こそが、今の憲法で定められたこの国の『目的』であり、国や政治家の仕事です。」と強調し、「フィンランドは、医師も含めて残業がなく、全ての教育段階の無償、18歳までの医療費無償などを実現している。日本国憲法をちゃんと実現する政府に変えれば、今すぐこういう社会を実現できる。」と熱く語りました。最後に、憲法9条を変えようとする現在の政府の動きに対し、「そもそも憲法に縛られる立場であるはずの政府が、自分たちの縛りを解こうと憲法を変えようとするのは憲法違反です。」と指摘し、「戦争は、国民の命も、自由も、尊厳も奪う。国に憲法を守らせ、健康で幸せに暮らせる社会を実現させましょう。」と結びました。



参加した学生からは、多くの感想や質問が寄せられ、ディスカッションも活発に行なわれました。「署名は意味があるのでしょうか？」という学生の質問には、「核兵器禁止条約が成立したのは署名の力。それに署名がたくさん集まれば、国は憲法改正の国民投票をしても負けると判断し、改憲発議をすることができない。大きな力になる。」と白神弁護士の対応に、職員も励まされる思いでした。今後も継続して学生と学びを深めていきたいです。
(青森民医連 相馬小百合)

県連事務局人事往来

現在、1年目研修医は10名と歴代最多の人数です。右も左もわからず各方面にご迷惑をおかけするかもしれませんが、一人一人が充実した研修を送れるようサポートしたいと思います。よろしくお願いします。

ささき ゆうと
着任 佐々木 悠人
(健生病院臨床支援課⇒青森民医連弘前事務所)



このたび民医連青森事務所に就任となりました相馬と申します。私は青森保健生協で約20年、医療の現場で事務職として働いてきました。これからはまた新しい視点で、病院で働く人も患者様もしあわせであるように頑張っていきたいと思っています。

そうま しほ (協立クリニック診療サービス課
着任 相馬 志保 ⇒青森民医連青森事務所)



みうら 三浦 郁	かおる 郁	帰任先	帰任日
だいまるや 臺丸谷未央	みお 未央	あおもり協立病院	10月1日
かねえだ 金枝 維子	つなこ 維子	津軽保健生活協同組合	10月1日
		津軽保健生活協同組合	12月1日

2022年度 薬剤師一年目研修

民医連の薬剤師として薬剤とどう向き合うか

十一月二十六日(土)、二〇二二年度青森県民医連薬剤師一年目研修が浪岡公民館とオンラインで開催されました。一年目薬剤師が四名参加、講師は葛西孔明薬剤師(ファルマ弘前薬局)が担当し薬剤の基本についての研修を行いました。

民医連薬剤師として薬とどう向き合うかを主題にし、薬の本質とはなにか、薬の二面性を知ること、薬を正しく評価するために論文を読む知識を身につけることが必要であるなどの話がありました。さらに薬害の歴史や論文の改ざん、日本や海外の薬価制度の比較、最近問題と

十一月二十六日(土)、二〇二二年度青森県民医連薬剤師一年目研修が浪岡公民館とオンラインで開催されました。一年目薬剤師が四名参加、講師は葛西孔明薬剤師(ファルマ弘前薬局)が担当し薬剤の基本についての研修を行いました。

参加者からは、「理解しやすい内容だった。」「大学や業務で学んだことの振り返りになった。」「などの感想が寄せられ、民医連薬剤師として、薬の安全性・有効性を評価し、薬の本質を見抜く力をつけることが、患者の安全や利益を守ることにつながる意識できたと思います。(薬剤師育成小委員会 佐藤賀奈子)



あけぼの薬局妙見店
薬剤師

かさい たかゆき
年男 葛西 孝行さん

①1986年5月1日協和病院に薬剤師として勤務しました。初日がメーデーのため最初の仕事は集会と花見への参加でした。花見では、酒を注がれるまま飲んでいたので、翌日は二日酔いで勤務したのを覚えています。その後、医薬分業を進めるなか、病院に残るか保険薬局かで、「チーム医療を実践出来る」病院に残りました。今は保険薬剤師として勤務しています。
②今年、60歳で定年になります。年金も65歳でないともえないので、仕事は続けながら、忙しくてできなかった趣味を再開したいと思っています。



八戸生協診療所
看護師

おびの かな
年女 帯野 香奈さん

①私が診療所へ入職してから、電子カルテの導入・所長交代・そしてコロナ過へ突入と目まぐるしい時が経過し早10年目を迎えるようとしています。現在は在宅部門へ配属となり日々学びの姿勢で業務に励んでおります。個人的には初めての出産経験を経て子育てと仕事の両立にバタバタと毎日過ごしています。
②毎日が慌ただしく過ぎ、気持ちが焦っている日々を過ごしているので、今年は(マッサージやアロマなどで)心身ともにリラックスした時間をゆっくり過ごしたいです。

私の三つ星★★★★



△目替わりの自家製ポタージュが毎回楽しみ。優しい味でお気に入り！

▽目替わりなので毎回違うキッシュが選べます。



オススメ

フランス料理店ノエル

青森市桜川にあるフランス料理店ノエルを紹介します。私はランチタイムに利用することが多いですが、オープンと同時に満席になるので予約をしないと入れないこともしばしば。コロナ前は学生時代の友人とよく足を運んでいました。店内はおしゃれなインテリアに囲まれており、女性が多く賑わっています。写真はキッシュランチメニューですが、この他に魚料理・肉料理から選べるランチコースもあります。料理はもちろん、デザートもとてもおいしくコーヒーや紅茶とともにとても幸せな時間が過ごせます！早く気兼ねなく友人と食事できるようになることを願うばかりです。

(あおりり協立病院 岩葉麻衣子)

うちのメゴッコ

vol. 70

♥ name みいちゃん

♥ age 6歳



ネザーランドドワーフとミニウサギのミックスでやや小柄、生後1か月でお迎えした時は片手ほどの大きさしかありませんでした。そんなうちのメゴッコも今年で6歳になります。臆病で寂しがりやな女の子で、いつも家族に撫でて欲しそうに甘えてきます。今年の3月には急に血尿が出始め、子宮摘出手術を受けました。家族の心配をよそに手術の翌日には元気いっぱい動き回り、傷が開い



てヒヤヒヤしたことも。最近では週に1回の部屋んぼ（部屋の中のお散歩）が楽しみです。

今年のはうさぎ年ということもあり、今までよりも笑顔と幸せをくれますように。

(健生病院 駒井博美)

健生病院
看護師

いまいずみよしこ
年女 今泉 芳子さん

①入職して5年目。年々、担当する褥瘡、ストーマ、失禁のケアの広がりを感じ、協力して下さる院内のみならず、地域の方々、患者さんとの出会いのおかげだと振り返っています。
②年女5回目。初心に立ち返って仕事ができるように、整理、整頓を心がけたいと思います。

あおりり協立病院
事務

ひがしだ まひろ
年男 東田 真尋さん

①先輩方が優しくご指導してくだり、あっという間に半年が過ぎました。コロナ禍で部署内外での行事など交流を深める機会はありましたが、皆さんと協力して頑張れたことが嬉しかったです。
②今年学んだ業務を効率よくスムーズに行えるよう、先輩方や法人全体の力になれるように頑張りたいです。また、新しく入ってくる後輩と仲良く仕事ができるように余裕のある人になりたいです。

(株)ファルマ
事務

くどう るみ
年女 工藤 留美

①ファルマに入職して14年目になります。2021年に正職事務職員の募集がありチャレンジしました。今年で3年目です。入職してからの一番の思い出は、コロナ禍でなかなか集まる事が難しい中ですが、様々な工夫と準備をしてくださり、新入社員のため、素敵な入社式を開催していただいたことです。すごく歓迎されていると感じたのを覚えています。新入社員挨拶ではすごく緊張したが、また新たな気持ちで頑張っていきたいと思いました。
②何事も経験することは、自分の強みになると思っています。いくつになっても、チャレンジする人であり続けたいです。

外ヶ浜町三厩地区 被災地支援

青森県では八月三日に初めて線状降水帯が確認され、大雨の影響で外ヶ浜町三厩地区では流れる川が氾濫し、住宅が浸水被害を受け、家の中に入ってきた大量の土砂や流木により、被災した住宅は人が住むことのできない状態になる程、深刻な被害を受けました。

青森保健生協では特に被害が大きい地区の組合員訪問を実施するとともに、法人機関紙で被害の状況を緊急報告し、支援金を外ヶ浜町へ届けました（青森保健生協の地域組合員や職員、あおもり健康

企画、社会福祉法人虹の職員から五十一万九千六円の支援金が寄せられました。

引き続き被災地域組合員の声をしっかりと受け止め、被災された方々が一日でも早く日常生活を取り戻せるよう尽力していきたいと思っています。

（青森保健生協 常務理事 今 淳一）



2023年1月 1月 第56期第9回理事会報告

>> 全日本民医連理事会報告関係

>> 県連出向人事

>> 決裁事項

県連・地協・全日本関係

>> 協議事項

民医連統一会計基準推進士アンケート実施について

新型コロナウイルス対応各法人・事業所の対応状況について

>> 県連医師委員会関連

>> 各種委員会

各種委員会報告・署名到達

>> 報告事項

全日本民医連通達・声明、地協関係

共闘関係

県連関係

>> 各法人・事業所報告

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2023 1月号 380円 好評発売中

若者の無低プロジェクト 北海道

けんこう教室 共同組織は健康に効く。

厳冬のウクライナ

うちでも元気 レッツ体操

まのちカラ 長野県木島平村

食と健康 簡単中華おせち

発行＝青森保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階 電話 03(5842)5656 FAX 03(5842)5657

2023年 お年玉 AOMORI MIN-IREN 応募用紙

『わたしが総理大臣になったら、まず何からはじめますか？』理由も教えてください。

例：「物価高対策」理由：消費税を5%にして、年収3,000万円以上の人に所得税を課税します。

例：「医療費無料」理由：国民全員医療費を無料にします。

「

」

理由：

応募の詳細は8面をご覧ください。

「稼働していない原発! 止めるならいま!」

医学生と3年ぶりに下北原発フィールドワークを実地



東通原発を視察

青森民医連医師医学生課では十一月十九日(土)～二十日(日)に医学生六人、医師二人、職員三人の計十一人で下北原発フィールドワーク(以下、FW)をおこないました。

FWでは初めに六ヶ所原発PRセンターに行き、館内の職員から核燃料サイクルの仕組みについて紹介をうけました。

六ヶ所再処理工場周辺の視察では、FWガイドの「脱原発フットワークあおもり」の竹浪協子さんから同工場が立地された当時の話が語られました。「六ヶ所村長選挙では反対派の立候補者が遺体で見つかったという話があった。立地反対派の住民に対しては反社会的組織が畳に刀をつき刺して脅すこともあった」。東通村役場周辺の豪華な建物の視察では「東通村には原発マネーで作られた豪華な建造物がある。原発稼働時は交付金で建物を維持できるが、稼働していない今は、建物の維持費が村の財政を圧迫している。」と、原発マネーの実態について解説されました。

二日目は大間原発を視察。津波時に避難する高台から展望し、原子炉建屋と民家の近さを感じました。そ

の後、大間原発敷地内にある「あさこはうす」へ。「あさこはうす」は大間原発建設に反対した熊谷朝子さんが土地を売らずに最後まで住んでいた家。今は娘の熊谷厚子さんが反対の意思を引き継いで住んでいます。厚子さんは「あさこはうす」の周りの状況について「最寄りの道路から『あさこはうす』までの道のりはフェンスで囲まれている。直線距離だと最寄りの道路からすぐの距離だが、原発建設会社は『あさこはうす』まで1kmくらいかけて、わざわざ坂道にして、迂回する道を作った。」と説明しました。最後に厚子さんからは「大間原発はまだ稼働していないのだから早くやめてほしい。」と思うが語られました。

参加者からは「大間原発と民家がすごく近いと感じた。」「熊谷厚子さんから話をきいて大間原発を止めるのは今しかない、と思いました。」などの感想が寄せられました。

コロナ禍で約三年ぶりにFWを開催し、参加した医師から「一〇〇回のオンライン企画よりも一回のFWのほうが説得力を感じる。」との感想が寄せられました。今後も医学生に実際に社会でおきている事実を体感してもらうために、FWを開催していきたいと感じました。

(青森民医連 矢作史考)



あさこはうすで熊谷厚子さんと学生が懇談



日頃のご愛読・ご協力に感謝して \ 定期便で応募OK /
抽選で **22名** にお年玉プレゼント

図書カード **1等**(2名) **3,000円分** **2等**(5名) **1,000円分** **3等**(15名) **500円分**

下の応募用紙を切り取り、必要事項を記入して定期便、封書、FAXにて青森民医連青森事務所までお送りください。当選者の発表は3月号(3/15発行予定)に掲載いたします。

ご注意 郵送する場合は事業所の封筒や切手の利用はご遠慮ください。

2023年 お年玉 AOMORI MIN-IREN 応募用紙



機関紙「あおもり民医連」

お年玉プレゼント 係



必ず、下記と7面の記入も忘れずにご記入ください。

事業所名

ふりがな

所属部署

お名前

応募×切 / 2023年2月15日(水) 必着 定期便・封書・FAX (017-773-5326) にてご応募ください。